

	認定番号	許容梁間	鉄板厚さ	タイトフレーム厚さ	断熱材種類	断熱材厚み
アドバンス	FR030RF-1892 (1)	4000mm以下	0.8~1.2mm	3.2mm	—	—
	FR030RF-1892 (2)	4000mm以下	0.8~1.2mm	3.2mm	スーパーフェルトン フネンエース	5~10mm 4~9mm

	認定番号	許容梁間	鉄板厚さ	タイトフレーム厚さ	断熱材種類	断熱材厚み
G-170	FP030RF-0215-1	4000mm以下	0.8~1.0mm	2.3~4.5mm	フネンエース	4~10mm
	FP030RF-0220-1 (1)~(4)	4000mm以下	上0.8~1.0mm 下0.6~1.0mm	2.3~4.5mm	グラスウール	100mm以上
	FP030RF-1688	4000mm以下	0.8~1.0mm	2.3~4.5mm	スーパーフェルトン	4~10mm

■木毛パーライトセメント板—耐火認定「全国木質セメント板工業組合」

	認定番号	母屋間隔/垂木間隔	鉄板厚さ	野地板	野地板厚み	断熱材種類	断熱材厚み
金属板	FP030RF-9258※	1820mm以下/606mm以下	指定なし	木毛パーライト セメント板	25~50mm	—	—
	FP030RF-9259※	1820mm以下/910mm以下	0.4mm			フネンエース	4mm

※ルーフィングは厚さ17kg品以上をご利用下さい。

■硬質木片セメント板—耐火認定「ニチハ株式会社」

	認定番号	母屋間隔/垂木間隔	鉄板厚さ	野地板	野地板厚み	断熱材種類	断熱材厚み
金属板	FP030RF-1763-2(1)※	2000mm以下/607mm以下	0.3~1.6mm	硬質木片 セメント板	18mm以上	—	—
	FP030RF-1763-2(2)※	2000mm以下/607mm以下	0.3~1.6mm			スーパーフェルトン フネンエース	10mm以下

※葺材が折板の場合に限り、屋根葺材と同じ厚さのタイトフレームをご利用下さい。

■不燃材料・準不燃材料

	認定番号	認定の名称	認定取得事業者
建築材料	QM-9701	木毛セメント板	全国木質セメント板工業組合
	QM-9702	木毛パーライトセメント板	〃
	QM-9706	アクリル樹脂系塗装/硬質木片セメント板	ニチハ株式会社
	NM-1196	フネンエースと鋼板の複合品	古河電気工業株式会社
	NM-0758	フネンエースと鋼板の複合品	〃
	NM-8673	無機質断熱材裏張/金属板	(一社)日本金属屋根協会/断熱亜鉛鉄板委員会
	QM-9829	難燃化ポリエチレンフォーム裏張/金属板	〃
	QM-9849	無機質高充填フォームプラスチック裏張/金属板	〃
NM-8697	塗装/亜鉛メッキ鋼板	(一社)日本鉄鋼連盟	

現行認定及び、新規認定の耐火仕様は(一社)日本金属屋根協会の屋根30分耐火仕様に準じます。

認定番号が赤字の認定書(写し)は、断熱亜鉛鉄板委員会に所属する正会員に対してのみ発行しています。

認定書(写し)が必要な場合は、(株)川上板金工業所にご依頼下さい。

■金属屋根工法選択の目安

屋根構法→		一文字 葺き	心木あり 瓦棒葺き	心木なし 瓦棒葺き	立平・ 蟻掛け 葺き	波板 葺き	折板 葺き	横葺き	金属瓦 葺き	フラット ルーフ	ステンレス シート 防水	パーフェクト ルーフ
↓条件	最低勾配	30/100	10/100	5/100	5/100	30/100	3/100	25/100	30/100	3/100	1/100	3.5/100
	流れ寸法(m)	10以下	10以下	40以下	10以下	10以下	50以下	20以下	10以下	30以下	50以下	—
規模 及び 勾配	自然曲率	5	30	20	15	20	125~ 250	(1)	100	30	15	0.9
	アーチ屋根 最小曲げ 半径(m)	—	—	0.8	7	—	30~50	—	—	7~30	2	0.5
	カービング プレス加工	—	—	—	—	—	0.45~ 0.6	—	—	—	—	—
	反り屋根の 最小曲げ半径(m)	5	200	200	200	150	300	(1)	100	300	2	0.9

標準的な考え方を示しており、メーカーによって異なることがあるので、採用される前にご確認下さい。

表中の折板のアーチ屋根の最小曲げ半径は、不陸が「0」の場合の数値を記載しています。

※(一社)日本金属屋根協会から転載